

ひがしどおり

No. 45

議会だより



平成25年度議員研修：四国電力(株)伊方原子力発電所（H25.4.25）

5月定例会

定例会審議内容…2～3P

一般質問 高等学校設置に伴う教育環境整備の今後…4～5P

臨時会・全員協議会・視察研修…6～7P

議会の動き…8P

定例会のあります

平成二十五年東通村議会第二回定例会が五月三十一日から六月七日までの八日間の会期日程で開かれました。

定例会には村長より、報告案件八件、条例案件二件、補正予算案件二件、契約案件三件、その他の案件二件、合計十七案件が提出され、全日程、全議案が原案どおり可決。

開会初日は、会議録署名議員の指名、議会運営委員長報告後に会期を決定。次に村長より提出議案について提案理由の説明。六月一日から六月五日まで議案熟考のため休会として散会。

六日は、川村隆議員による一般質問が行われ、続いて報告案件八件を審議。

七日は、条例案件二件、補正予算案件二件、契約案件三件、その他の案件二件を審議後、閉会。

5月定例会に提案された議案を紹介します。



ターフ射線防護対策事業の三事業について、法の規定により報告するものです。

延長で平成二十五年三月三十日を平成二十七年三月三十日まで延長するものです。

報 告

平成二十四年度東通村一般会計繰越明許費繰越計算書 東通村税条例改正 資産税の特別措置に関する条例改正

村民税に係る住宅ローン控除の延長・拡充、延滞金の見直し等を改正するものです。

東通村土地開発公社経営状況報告書 東通村過疎地域における固定資産税の特別措置に関する条例改正

去る五月十七日の総会において、経営状況が承認され、法の規定により報告するものです。

一般社団法人東通村産業振興公社経営状況報告書

適用期限の延長で平成二十一年三月三十一日を平成二十二年三月三十一日までとするものです。

平成二十四年度東通村水道事業会計繰越明許費繰越計算書

岩屋地区仮設配水管布設事業の一部工事が県道改良工事されたことから、法の規定により翌年度へ七百五十三万五千円を繰越したものであり、議会に報告するものです。

東通村承認企業立地計画に従つて設置される施設に係る固定資産税の特別措置に関する条例改正

事業、岩屋地区漁村再生交付金事業、東通村オフサイトセン

以上二二案件は、適用期限の

条

例

補正予算

契約

岩屋地区漁村再生工事請負契約について

去る五月二十四日、指名競

東通村新型インフルエンザ等対策本部条例

平成二十五年度東通村一般会計補正予算（第一号）

岩屋地区漁村再生工事請負契約の変更について

争入札に付し、一億七百十万元をもって野村建設株式会社に落札したので、本契約を締結するものです。

国は、新型インフルエンザ等が全国的にまん延し、かつ、発症の程度が重篤となる恐れがあり、国民生活及び国民経済に重大な影響を及ぼすこと

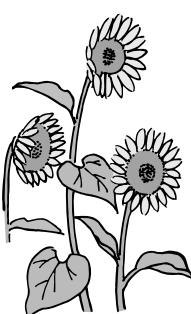
に鑑み、新型インフルエンザ等対策の実施に関する計画及び新型インフルエンザ等緊急対策事態措置等を定めた特別措置法を施行したことに伴い、

規定により東通村新型インフルエンザ等対策本部条例に必要な事項を定めるものです。

東通村国民健康保険税条例改正

す。

地方税法施行令等の改正が公布されたことに伴い、改正するものです。



その他



青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体数の減少及び青森県市町村総合事務組合規約の変更について

青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体数の減少及び青森県市町村職員退職手当組合規約の変更について

以上二案件は、構成団体である黒石地区消防事務組合が平成二十五年六月三十日をもつて解散することに伴い、法の規定に基づき、お諮りするものです。

東通村体育館補修工事請負契約について

去る五月二十四日、指名競争入札に付し、四千百七十九万円をもって株式会社橋本建設工業に落札したので、本契約を締結するものです。

議員が村に提言

高等学校設置に伴う教育環境整備の今後！



川 村 隆 議 員

温泉施設の利用対策について

【川村議員】

村の温泉施設は大変好評で、利用者の料金設定の見直し、あるいは館内放送での譲り合の呼びかけや施設の改修など、様々な角度から更に検討あるが、六歳未満、七十歳以上の方が無料とのこともあり、村外からの利用者が多く、混雑し、苦情が多く聞かれる。楽しい温泉利用をするためにもらかの対策が必要ではないか。

【村長】

村民のくつろぎの場やコミュニケーションに欠かせない場所もあることから、少しでも利用者の苦情を解消し、



快適に利用していただきたく、村内外の利用者のご理解のために、アンケートや聞き込みなどの調査も検討して参る。今後、村民の年齢区分のわ

幼・小・中一貫教育の延長として高等学校併設について

【川村議員】

政運営所信にあたり、小中一貫教育の実践、学力向上のための教育プランに基づく施策を実施すると申し上げているが、これに高等学校を併設してはと考える。課題は多々あろうかと思うが、今後検証委員会、勉強会などで調査検討致し、少子化の今こそ教育環境整備に積極的に対応し、正にこれが幼・小・中・高の一貫教育である旨、県・国にアピールできるのではないか。昭和四十八年に原発に伴う小田野沢議会でも高等学校の誘致を議論した経緯もあり、先人たちの教育に関する情熱あるいは

先見の見通しはすばらしいものがあり、教育はもとより、高校のない村解消のために提案致したいと思うが。

【村長】

これまでの村の高等学校の誘致を巡る経緯は、昭和四十六年二月六日に東通原発誘致と、村民本位のサービスの提供を目指して参る。これに高等学校を併設しては、これまでの村の高等学校の誘致を巡る経緯は、昭和四十六年二月六日に東通原発誘致として、県議会、村議会、関係部落、村との会談の中で、「高等学校の村内設置」が要望された。同年十月四日には、改めて村から県知事に再要望し、同年十月七日には県知事より「県教育委員会と打合せをしている」との回答があつた。その後、東通原発漁業補償交渉受諾に伴う地域振興対策事業として、平成五年一月に老部部落会、同年二月には白糠部落会から村に対し、「東通村実業高等学校の誘致」の

一般質問

要望があつた。これを受け、画的に学級数の減を進めるとともに、田名部高等学校大畑校舎普通科の募集を平成二十一年度に停止し、平成二十六年もを育てる施設の構想を致した。しかしながら、追加の漁業補償交渉に伴い、各関係団体等は、その内容の見直しを行い、平成十五年九月の追加漁業補償交渉の際に、高校誘致の要望がなされなかつた経緯がある。一方、県教育委員会では少子化等に伴い、平成十二年から平成二十年までの県立高等学校教育改革第一次・第二次実施計画を策定し、新しいタイプの高等学校の整備など、様々な取り組みが進められてきた。しかしながら、高等学校教育を取り巻く環境の大きな変化や、中学校卒業予定者数の更なる減少が予想されたことから、県教育委員会では、第三次実施計画で計

年度末には閉校することとしている。又、普通科と併設する職業学科は、専門高校への集約に向け、募集の停止を進めてることとしている。このよう

更には県内全域の高等学校は、少子化に伴う中学校卒業予定者数の大幅な減少により、大きく縮小再編がなされる方向にあり、現状を鑑みて、東通村での新たな高等学校の設置は非常に困難な状況にあるものと判断している。わが村は、

国では、高等学校の義務教育化も模索しているようであり、今後の社会情勢や高等学校設置の検討を進めていく必要があるものと存じている。又、遠方に通わざるを得ない高等学校進学者に対する、進学先や学力を判断基準とした特別な奨学金や居住環境の支援など、子どもたちの夢や目標を達成する一助になるよう対策をしていかなければならぬないと考えている。



【川村議員】

高等学校については、かなり困難が予想されるが、前向

きな考えで進めてもらいたい。

高等学校についても、十分考慮していきたいと考え



任として、その時々に応じ、



東通村議会組織一覧表

【平成25年5月1日より】

議長	小笠原 清春	副議長	花部 悅男
----	--------	-----	-------

第一回臨時会

委員会の名称	委員長	副委員長	委員
総務企画常任委員会	川村 隆	坂本寅藏	花部悦男・渡部英夫・丹内俊範
産業建設常任委員会	二本柳弘志	南谷宏三	南川誠一・太田壽一・相内祥一
教育民生常任委員会	奥島貞一	二本柳貞一	小笠原清春・花部悦男・吉田光男
議会運営委員会	吉田光男	坂本寅藏	南川誠一・奥島貞一・二本柳弘志・川村隆

平成二十五年東通村議会第一回臨時会が四月十九日招集され、会期を一日とする日程で開かれました。臨時会には村長より、報告案件二件、契約案件一件が提

出され原案どおり可決。又、この四月三十日で二年の任期が満了する各常任委員会等の構成員の選任が行われ閉会いたしました。

報

告

全員協議会

平成二十四年度東通村一般会計補正予算（第六号）

国民健康保険特別会計繰出金について、緊急的な予算措

置が必要と判断し、歳入を地方交付税確定後に増額。既定額に四千六百万円追加、総額を七十七億七千四十万四千円とするものです。

平成二十四年度東通村国民健康保険特別会計補正予算（第六号）

歳出は、保険給付費、保健事業費など千八百二十二万五千円を減額、総額九億七千四十一万円。歳入は、保険税収納額九千四百八十七万六千円減額、一般会計繰入金四千六百万元の追加と出産育児一時金繰入金三百五十二万円の減額等、繰入総額を一億九十七万五千円。歳入総額九億七千四十一万円とするものです。

これに対し、議員からは、原子力災害対策を重点的に実施すべき区域を含む地域の範囲について、国の財政的、人材の支援について、村民でも理解できる設定値について、要支援者の誘導について、電源不足、早期周知対策について等多数の質問・意見が出され、その都度詳細な説明が行われ

★四月十九日（金）午前十時五十分 村庁会議場にて

○協議案件
東通村地域防災計画（原子力編）の修正について

岩屋地区漁村再生工事請負契約について
去る四月九日、指名競争入札に付し、二億二千五百七十五万円をもつて野村建設株式会社に落札したので、本契約を締結するものです。

閉会いたしました。

契約

視察研修

去る四月二十五日、愛媛県・伊方原子力発電所及び伊方ウインドファームの視察研修を行いました。

《四国電力株式会社 伊方原子力発電所》

発電所到着後、総務広報部長・今井裕幸氏の出迎えのもと、伊方ビジャーズハウスにてご挨拶と概要説明を受けました。今井部長さんは、冒頭のご挨拶で「東日本大震災から福島の方の支援に全力を注いできました。当発電所も安全対策に最大限の努力を傾けている状況にあります。又、福島原発で事故が発生したことを真摯に受け止め、万一の事態に備え、より安全な状況を確認し、従来の安全対策に加え、取り得る対策を順次進めています。」とのことでした。主に津波対策として、瀬戸内海に面する伊方原発は一号機・二号機・三号機の三基あり、太平洋岸に位置する福島

消防ポンプ八台、水中ポンプ二十八台、海水ポンプ、代替え注水ポンプの設置。地震対策は、耐震裕度一倍の確保、耐震性向上など。シビアアクシデント対策は、フイルタ付ベンチ設備設置、水素処理装置設置、がれき撤去用重機一台、通信手段・高放射線防護服配備。その他、緊急時を想定した訓練の実施に取り組んでいたことでした。

《伊方ウインドファーム》

伊方原子力発電所視察後、隣接する伊方風力発電所へ工場・パワー株式会社・取締役事業開発部長・真鍋修一氏より、現地へ案内され、概要説明を受けました。本風力発電所は、四国最西端に伸びる全長五十キロメートルの佐田岬半島に位置し、風力のまち伊方町との第三セクターが運営

第一原発とは立地条件が異なつており、想定される最大の津波は、満潮時で海拔四・三メートルで、原子炉などの主要設備は海拔十メートルの高さに位置しているが、更に安全性を高めるため、機器の浸水対策を進めている。電源確保対策は、電気を送るための送電・七回線、各号機に二台ずつの非常用ディーゼル発電機設置、大容量電源車四台、配電線二ルート、恒設非常用発電機、非常用外部用電源受電設備の設置。冷却対策として、消防自動車三台、可搬型消防ポンプ八台、水中ポンプ二十四台、海水ポンプ、代替え注水ポンプの設置。地震対策は、耐震裕度一倍の確保、耐震性向上など。シビアアクシデント対策は、フイルタ付ベンチ設備設置、水素処理装置設置、がれき撤去用重機一台、通信手段・高放射線防護服配備。その他、緊急時を想定した訓練の実施に取り組んでいたことでした。



間を通じて半島を南北に越える強い風が吹くことから、恵まれた風力資源を最大限活用して二酸化炭素を排出しないクリーンな電気を発電している。事業主体は伊方エコ・パワー(株)、資本金二億円(出资比率エコ・パワー八十五パーセント、伊方町二十パーセント)、設備容量は二万八千キロワット(一千五百キロワット×十二基)、工事着工は平成十九年五月、竣工及び電力受給開始は平成二十二年三月十八日とのことでした。

議会の動き

4月	19日	議会運営委員会・第1回臨時会・全員協議会
	23日	議員視察研修（～26日）
5月	10日	青森県原子力施設環境放射線等監視評価会議
	24日	議会運営委員会
	27日	全国町村議會議長・副議長研修会（～29日）
	29日	全国原子力発電所所在市町村協議会総会
	31日	第2回定例会本会議 下北郡町村議會議長会臨時総会
6月	3日	青森県町村議會議長会臨時総会
	6日	第2回定例会本会議
	7日	々

議会を監視するのは『あなた』です。

5月定例会の傍聬人は43人でした。

あなたも議会の傍聴をしてみませんか。

傍聬は村政を知る良い機会です。

定例会は、3月、6月、9月、12月の年4回開かれます。

臨時会は、必要に応じて開かれます。

詳しくは、議会事務局27-2111
(内線412・413)へお尋ねください。

議会傍聴

の担当です。

次回は、総務企画常任委員会

願い申し上げます。

様の暖かいご指導、ご協力をおりづくりに努めますので、村民皆

教育民生常任委員会に引き続き、産業建設常任委員会が四月から六月までの議会の動きをまとめてみました。

会が五月三十一日開会され、提出議案十七件を議決。六月七日閉会しました。

編集後記